



秘密保護法が国民のプライバシーをおかす

国民の電話や通信 盗聴・傍受される

●上智大学の文学部新聞学科、田島泰彦教授

の「秘密保護法後の言論と社会—情報を市民に取り戻すために」講演会が高知市で開催されました。

この6月、安倍政権が、国会法を改正しました。その目的は、スノーデン氏が暴露したアメリカのCIAと同様、ドイツのメルケル首相クラス的人物はもちろん、私たち市民の電



話・通信を記録、傍受、盗聴する「情報・諜報機関」の創設を狙う事だったと述べ、危険極まりない安倍政権に警鐘乱打する講演内容でした。こともあろうに国家権力が勝手に個人情報傍受・盗聴するなど、ベネッセどころでない大問題です。

電話以外の会話も盗聴 壁に耳ありの時代に

来年通常国会には電話以外の会話の盗聴をも可能とする盗聴法改正や、

オリンピック開催に向けテロを理由に共謀罪の創設なども着々と準備されています。

私たちのプライバシーは風前のともしびで、まるで戦前の感をもちました。

言論、表現、情報の自由、そして人権を我々の手にとたかかった自由民権の血をひく私達が頑張るときですね。

無料法律・生活相談

8月20日(水)午後6時~8時

●山本尚吾弁護士

場所：愛宕商店街 吉良富彦事務所

※くらし、子育て・教育相談等もお気軽に。お電話下されば確かです。

(秘密は守られます) ☎855-9439



キラリンにやんでも通信

●一ツ橋まつり
十一回目となる夏休み最初の校区一大イベント「一ツ橋まつり」。

あいにくの夕立に人出を心配するも、一五〇〇人と今年も大盛況。わが町内会の模擬店「おにぎ

りも完売 礼と御まし